

目標達成計画

作成日: 平成 24 年 1 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		事業所の理念の作成・玄関への掲示により、スタッフ全員が共有しているが、地域へ浸透するようにパンフレットへの掲載が行えていない。	グループホーム放出ゆおびかのパンフレットへ事業所の理念を掲載する。	本年度中に掲載を完了したパンフレットを作成する	3ヶ月
2		エレベーターは施錠されていないが、階段や避難用の非常階段、玄関などは安全上施錠されている。	施錠そのものについては、軽度の身体拘束に当たることを職員全員が認識し、そこからどうすれば良いかを検討する必要があるのではないか	施錠そのものが軽度の身体拘束にあたる事をスタッフ全員が認識できるように職場会議等で確認する。その上で施錠が可能な場所・時間帯など検討する。	2ヶ月
3		地域包括支援センターとよく連携がとれている。区主催のケアマネ会議にも参加している。しかしそれだけでは十分な情報は取れていない。	大阪市または鶴見区で主催する介護関係の色々な意見交換会がある筈である。例えば施設部会(地域密着関係)などがあると思うので、調べて参加する。	様々な意見交換会など調べて自主参加出来るようにする。	1～3ヶ月
4		年2回、避難訓練はしている。しかし、地震時想定避難訓練は出来ておらず、地域との協力の元での避難訓練も開催できておらず。	地域との関係・人間関係を深めGHを認識して頂く、その上で避難訓練に参加して頂けるように協力体制を築くようにする。	運営推進委員会・その他地域活動を通して、GHを知って頂くように働きかける。避難訓練を行う際にも、地域へ知らせ少しずつでも参加人数を増やす取り組みを行う。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。